



No.84
2025
3.4 月号

発行：松山市地域包括支援センター石井・浮穴・久谷

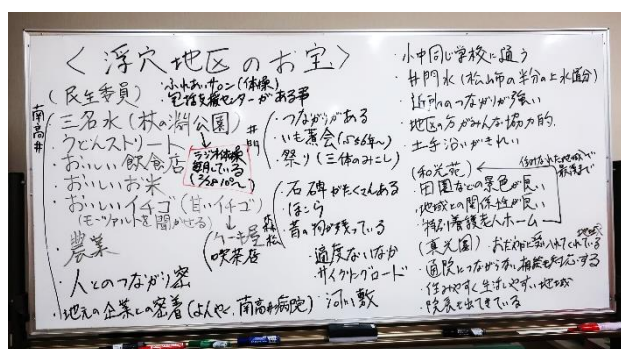
包括だより

令和6年度 浮穴地区地域ケア・圏域会議 開催

2月13日、当センター会議室で、浮穴地区地域ケア・圏域会議を開催しました。この会議に、浮穴地区まちづくり協議会、浮穴地区民生児童委員、居宅介護支援事業所和光苑、松山市社会福祉協議会、松山市役所長寿福祉課、駐在所、松山市障がい者南部地域相談支援センター、真光園を招き、当センター対応の事例や被害妄想に関する相談事例などを共有しました。また、地域のお宝自慢と題して、浮穴地区の魅力共有。改めて浮穴地区の良さを確認することができました。これからも関係者と一緒に、浮穴地区のまちづくりを盛り上げていきたいと思ひます。（大北）



当センターが対応した事例を発表しました



浮穴地区はたくさんの宝がある素敵な地域です

高齢者交通安全講習会

1月23日、松山南警察署で開催された高齢者交通安全講習会に参加しました。県内で、1月に相次いだ高齢者の死亡事故発生を受け、緊急の開催となりました。道路での横断や、運転中の横断歩道の確認や、反射材の着用などの説明を受けた後、事故防止のポイントを学びました。さらに歩行者や自転車のシミュレーターでは、自動車や人の飛び出しに咄嗟に対応できるか、交通ルールを守ることができているかをリアルに体験。参加者らは真剣に取り組んでいました。高齢化が進む中で交通事故をいかに防げるかは大きな課題の一つです。私たちも運転や歩行時の安全意識を高く持つ必要がありと感じました。（東）



積極的に反射材を着用しましょう



交通ルールを守った安全な地域を目指しています

令和6年度 天山町 防災訓練

2月16日、令和6年度天山町防災訓練に参加しました。同町では年2回の訓練を実施しており、今回は地震発生を想定した訓練でした。訓練の放送が流れる中、参加者は天山分館に集合。各家庭に事前に配布している「無事です！」カードを玄関にぶら下げているかの確認や地域の危険箇所の確認などし、あまやま天赦苑に集合。町内の防災備蓄用品の説明やアトムグループ防災担当部長の坂田憲一郎氏による「大規模災害への備え／火災・救急の現況について」の防災講演会も開催。参加者は、真剣な表情で訓練に取り組まれていました。（掛水）



「無事です！」カードを吊り下げています



防災の観点で町を歩くと違う景色が見えます



天山町では何度も訓練を積み重ねています

認知症サポーター養成講座 ＝石井北小学校＝

1月21日、石井北小学校4年生を対象に、認知症サポーター養成講座を開催しました。事前学習を踏まえながら当センターより認知症について説明。石井西地区社会福祉協議会、松山市社会福祉協議会等と共に声かけ訓練に取り組みました。一生懸命に高齢者の困りごとを解決しようとする児童らの姿から、最初に声をかける勇気や大人に協力してもらう大切さを知ってもらうことができました。これからも、認知症サポーターの一員として成長してほしいです。

（坂本）



困っている人を助ける気持ちを大切にしてくださいね

福祉体験学習 ＝石井北小学校＝

2月14日、石井北小学校4年生を対象に、高齢者福祉体験学習を実施しました。高齢者の心身の変化について学んだあと、実際に高齢者を疑似体験できる装具を付け、高齢者が日頃感じている大変さを体感してもらいました。「身体が痛くてしんどかった」「お年寄りがこんなに大変だとは思わなかった」等の感想があり、高齢者との関わり方を考える良い機会となりました。

（奥）



大きな気づきを得ることができたようです

石井西地区 椿カフェ

12月18日、石井支所で、石井西地区の民生児童委員と居宅介護支援事業所のケアマネジャーと顔の見える関係づくりを目的に、「石井西地区椿カフェ」を開催しました。石井西地区民生児童委員協議会の高市会長の「民生児童委員や地区社会福祉協議会の活動」のほか、松山市役所長寿福祉課の岡田氏より「個別避難計画」について講義もありました。このあと、グループに分かれ高齢者支援について意見交換。参加者から「民生児童委員の活動を知ることが出来て良かった」「意見交換の場は大切と感じた」等と感想がありました。

(松本)



沢山の意見があり、有意義な時間となりました

家族介護教室 ＝古川＝

1月16日、古川集会所であった、高齢者の介護方法や介護者の健康づくりに必要な知識や技術を習得する家族介護教室に、31人の参加がありました。アトム商事の定松氏による実用的な福祉用具の話や車椅子や歩行器などを実際に触れる体験会に、「将来の参考になった」等と感想があり、好評でした。(好光)



実際に体験し、使いやすさを実感できました

令和6年度 第2回 ケアプラン研修会

12月19日、愛媛県生涯学習センターで、令和6年度第2回ケアプラン研修会に市内のケアマネジャー41人が参加しました。松山市役所長寿福祉課の矢川主任介護支援専門員を講師に迎え、適切なケアマネジメント手法についての講義に、参加者からは、「基本的なところを再確認できてよかった」「何度も反復し活用していきたい」等と前向きな感想が多くありました。

(杉本)



今後も研修を重ねていきたいと思います

令和6年度 第2回 ケアマネ交流会

2月12日、愛媛県生涯学習センターで、令和6年度第2回ケアマネ交流会を開催。ケアマネジャーとしての経験年数別のグループワークでは、活発で自由に意見交換ができました。また、困難事例の対応相談や社会資源の情報共有を通して、今後も地域のケアマネジャーが悩みを抱え込まないよう定期的に交流会を開催するなどして、一緒に解決策を考えられる時間を作っていきたいと思います。

(和田)



ケアマネジャーと一緒に高齢者を支えていきます

シェイクアウト訓練

12月17日、シェイクアウト訓練を行いました。令和6年は能登半島地震、宮崎や豊後水道などで大きな地震が発生。今後、起きると予測されている南海トラフ地震に対する不安の多い年となりました。何気ない日常生活では、災害の事を忘れがちになりますが、普段からの避難訓練で、いつ発生するかわからない災害時に、身を守る意識を強く持つことができ、改めて訓練の必要性を感じました。（渡部）



机の下に入り、自身の身を守る練習をします

いつ災害が起きるかわかりません。

防災グッズ、準備しているから大丈夫と

思っていないませんか？

いつの間にか、懐中電灯の電池切れ、
備蓄品の期限が切れていることもあります。定期的な見直しで、いざという時にはすぐに避難できる準備をしておきましょう。



新任職員紹介



【社会福祉士】



東 晃穂
(ひがし あきほ)

1月から勤務することになりました。
石井・浮穴・久谷地区は私の生まれ育った場所なので、地元の方々のお役に立てよう頑張りたいと思います！

2月から当センターで勤務しています。
地域の皆様が少しでも安心できるよう親切丁寧な関わりを心がけます。
頑張りますので、よろしくお願いします。

【保健師】



和田 香苗
(わだ かなえ)

編集後記



暖冬なのかと思いましたが、0度を切るときもありましたね。春が近づくにつれて、20度を超える日もあれば、その後は10度を切りと。季節に体調を合わせるのは大変です。春は体調を崩しやすいです。まだまだ三寒四温は続きそうです。老若男女に関係なく、ご自愛ください。（二宮）

松山市地域包括支援センター

石井・浮穴・久谷

松山市東石井7丁目3番32号

TEL : 089-957-0808

松山市地域包括支援センター石井・浮穴・久谷

サブセンター浮穴・久谷

松山市東方町甲1272番地1

TEL : 089-905-8889